

紫外線による目の影響

紫外線は目に見えない光で殺菌力を持っている反面、目に悪影響を及ぼすことがあります。

紫外線の長期的な影響として、「白内障」や「翼状片」が生じます。翼状片とは、黒目に白目の一部が侵入してくる病気で、視力低下や目の運動障害がおこります。

いずれの病気も野外で長時間、仕事やスポーツをされている方に多い傾向にあります。

短期的影響には、「角膜炎」(黒目の炎症)、「結膜炎」、「虹彩炎」(茶目の炎症)が生じます。



院長 丹呉英介

また、最近では、紫外線以外にも、目に見える光の中で、特に青色の光が「加齢黄斑変性」を引き起こすことがわかってきました。網膜の一番大切な部分に障害を生じ、ものがゆがんで見えたりする病気です。

紫外線は、一年の中で、この夏の正午ごろが一番強くなります。外出の際には、光になるべく当たらないように、つばのひろい帽子や目をしっかりと覆うサングラスの着用をこころがけましょう。

夏休みのお知らせ
8月17日(月)から20日(木)まで夏休みをとらせて頂きますのでご了承下さい。

丹呉眼科

イトーヨーカドー葛西店2F

江戸川区 東葛西9-3-3

TEL / 03-3686-2611

<http://www.tango-ganka.jp>



土・日・祝日 診療

診療受付	月	火	水	木	金	土・日・祝
10:00 ~12:30	○	○	○	/	○	○
14:30 ~18:30	○	○	○	/	○	○ ~17:30